



No. 30 (2020年2月発行) 発行：北海道海洋生物科学研究会

1. 第18回シンポジウム（令和元年度）（札幌）
2. 第17回シンポジウム報告
3. 事務局だより

1. 第18回シンポジウム（令和元年度）（札幌）

第18回北海道海洋生物科学研究会シンポジウム

「北海道水圏・海洋微生物科学研究の現状」

日時： 令和2年（2020年）3月16日（月）13:00～

場所： 北海道大学大学院薬学研究院 第1講義室（薬学部管理研究棟1階）
（札幌市北区北12条西6丁目）
（北13条門を入り、銀杏並木沿い左手に5階建ての薬学部管理研究棟がございます。正面玄関を入り、1階左手突き当たりまでお進みください）

参加無料

【スケジュール（講演は5分の質疑を含む）】

- 13:00～13:05 シンポジウム世話役挨拶 脇本 敏幸（北大院薬）
- 13:05～13:50 1. 海洋微生物探索のこれから～培養困難な微生物からの視座～
中井 亮佑（産業技術総合研究所生物プロセス研究部門研究員）
- 13:50～14:30 2. 熱水孔環境コスモポリタン微生物の生理生態
美野 さやか（北海道大学大学院水産科学研究院助教）

- 14:30~15:10 3. 赤潮・アオコ原因藻類と殺藻細菌の化学生態学
藤田 雅紀（北海道大学大学院水産科学研究院准教授）
- 15:10~15:20 休憩
- 15:20~16:00 4. 多価不飽和脂肪酸生合成の詳細解析と生産への応用
小笠原 泰志（北海道大学大学院工学研究院助教）
- 16:00~16:45 5. 有益バイオフィルム～淡水性植物と表層微生物の合目的相利共生
森川 正章（北海道大学大学院地球環境科学研究院教授）
- 16:45~16:50 代表幹事挨拶 沖野 龍文（北大院地球環境）
- 16:50~17:00 研究会総会
- 18:00~ 懇親会
（場所）でん八 道庁前店（札幌市中央区北4条西6 毎日会館1階）

懇親会について

（懇親会費） 未定（5000円～8000円予定，申込者に個別に連絡します）

（懇親会参加申し込み先）ご芳名、所属、連絡先をお知らせください。

第18回シンポジウム世話役 脇本敏幸（北海道大学大学院薬学研究院）

住所 060-0812 札幌市北区北12条西6丁目 北海道大学薬学部

Eメール wakimoto@pharm.hokudai.ac.jp 電話 011-706-3239

懇親会参加申し込み期限 3月6日（金）



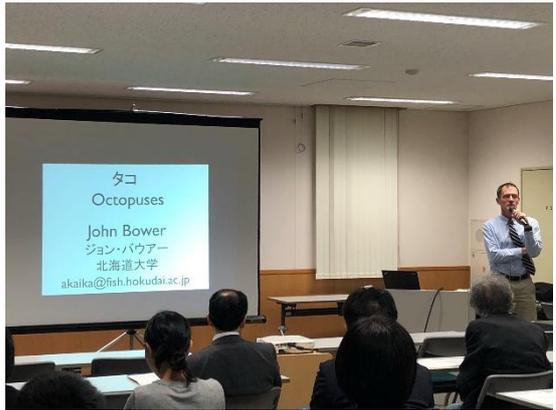
2. 第17回北海道海洋生物科学研究会シンポジウム (函館) を開催

平成30年11月9日(金)に、第17回北海道海洋生物科学研究会シンポジウムを北海道大学大学院水産科学研究院において開催しました。今回のシンポジウムでは、「北海道水産・海洋生物の現状 —北海道漁獲高の神セブンメンバーと海鳥— 」という題目でのご講演をお願いしました。昨今の北海道を代表する水産物の生産が苦戦している状況から現在北海道の重要水産生物に関連してどのような研究が行われているのか、あわせてヒトと同じ消費者である海鳥の立場からの研究のお話をいただきました。最初に北海道生産額第2位の「さけ・ます」のさけについて、清水宗敬氏が漁獲に影響のある初期減耗に対して、成長ホルモンの定量によりその後の減耗・成長を予想できる可能性を示唆する発表をしていただきました。つぎに生産額第5位の「いか」について、高原英生氏が水温の成熟、寿命、摂餌量に対する影響の発表をしていただきました。第6位の「たこ」について、ジョン R. バウア氏が北海道周辺及び世界のタコの分布と北海道東部での二種類のタコの垂直分布や移動の解説と今後予定している生態学的研究の発表をしていただきました。第3位の「こんぶ」について、水田浩之氏が今後の増養殖のため、母藻の環境ストレスに対する応答や他の褐藻も含めた周辺環境の大事さの発表をしていただきました。最後に、水産生物の消費者の立場から「海鳥」について、綿貫豊氏は長年の成果から、海鳥が幼鳥に運ぶ餌の魚をモニタリングすることで、リアルタイムに環境変化に伴う小型魚の構成を把握でき、「海鳥は、試験操業をせずに周辺の小魚や幼魚をモニタリングできるサンプリング補助者である」というユニークな発表をしていただきました。

当日は約50名の参加があり、どの話題も興味深い内容で活発な質疑討論がなされました。

プログラム

13:00~13:05	シンポジウム世話役挨拶	栗原 秀幸 (北大院水)
13:05~13:50	1. さけ	清水宗敬 (北海道大学大学院水産科学研究院准教授)
13:50~14:40	2. 頭足類	
13:50~14:15	a) いか	高原英生 (函館国際水産・海洋都市推進機構主任連携研究員)
14:15~14:40	b) たこ	ジョン R. バウア (北海道大学大学院水産科学研究院准教授)
14:40~14:50	休憩	
14:50~15:35	3. こんぶ	水田 浩之 (北海道大学大学院水産科学研究院教授)
15:35~16:20	4. 海鳥	綿貫 豊 (北海道大学大学院水産科学研究院教授)
16:20~16:25	代表幹事挨拶	沖野 龍文 (北大院地球環境)



会場の様子

世話人：栗原秀幸（北海道大学大学院水産科学研究院）

3. 事務局だより

1) 年会費納入のお願い

令和元年度と令和2年度の年会費を同封の払込票でお支払いください。払込票に（未納分のある方は未納年度も含めて）支払い年度を記入しました。なお、令和元年度分既納者には払込票を同封していません。

年会費：一般会員 1,000円、学生会員 500円、賛助会員（団体）10,000円
会費振込先 郵便振替口座番号 02700-1-93161 加入者名 北海道海洋生物科学研究会

2) 会員募集

個人会員および賛助会員（団体）を募集しています。なお、入会希望の方には払い込み票をお送りしますので、ご連絡下さい。

年会費：一般会員 1,000円、学生会員 500円、賛助会員（団体）10,000円

3) 会員の動向

現在会員数は26名、1社です。

入会者 藤田雅紀氏（北大院水）

住所・所属先の変更がございましたら、事務局までお知らせ下さい。

4) 会計報告

平成29年度会計報告は以下の通りです。平成30年11月8日に開催された総会で承認されました。

平成29年度収入	平成29年度支出
会費 28,000円	事務用品 556円
繰り越し 100,768円	送料 2,492円
	振替手数料 820円
	シンポ補助 26,300円
計 128,768円	小計 30,168円
	繰り越し 98,600円

5) 記事募集

ニュースレターへの情報提供・投稿を随時募集しております。編集担当までお知らせ下さい。

旭川高専 松浦 matsura@asahikawa-nct.ac.jp

編集後記

2回連続シンポジウムの案内と前回のシンポジウムの報告のみになってしまいました… ぜひ記事の情報提供をお待ちしております。よろしくお願いたします（松）

